

# 校長室だより



令和5年5月②

## 人や学校、そして地域に「貢献」する力！

人のために、学校のために、地域のために、と考える力、行動力は、生きていくうえで大切であると思います。人の役に立つことは自分の心に「役に立ちたい」「自分は役にたてる」という自己有用感がなければできません。といってもこの「自己有用感」という力はなかなか簡単につくものではないです。学校生活での積み重ねでもあると思います。

さて、本校において特に小学部の子供たちが遊んでいる中庭の遊具が長年の劣化で錆が増え、一日も早く修理して遊べるようにしたいと苦慮していました。そんな時、先日、高等部1年生の校内宿泊学習時、学習の一環として「作業」を企画し、1日で錆を落としペンキで見事に修理してくれました。10名で役割を決めながら先生の支援のもと、見事に「仕事」ができました。途中何度か声かけにいきましたが、彼らのたくましい姿が嬉しかったです。与えられた仕事をこなすことは大切ですが、自分たちで協力して仕事して、「役に立つ」ことは何より将来への「働く」意識、そして褒められ、評価され、感謝されて「自己肯定感」へと変化していくことを願っています。高等部1年生のみなさん、ありがとうございました。感謝します。次は地域へも貢献してほしいです。



きれいになり、小学部の子供たちから感謝されていました。学校を代表して校長から、1年生全員への「感謝状」を贈呈しました。



感謝状

高等部1年生の  
皆さんへ

この度の皆さんの活動  
(遊具の修理)に学校を代  
表して感謝いたします  
今後も、学校のため  
よろしく願います

令和五年五月二十六日  
附属特別支援学校長  
米田 良博